

## 平成29年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成29年4月～平成30年3月

### 1. 学校概要

学校名 東京都 多摩市立貝取小学校

種別  保育園・幼稚園       小学校       小中一貫教育  
 中学校       中高一貫教育       高等学校  
 教員養成       技術/職業教育  
 特別支援学校       その他（                      ）

所在地 〒206-0012  
東京都多摩市貝取3-9

E-mail daihyo-kaidori-sho@city.tama.ed

Website http://www.tama.ed.jp/kaidori

児童生徒数 男子 165名      女子 151名      合計 316名  
児童の年齢 6歳～12歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ 福祉 地域 栽培 愛鳥活動 ）

### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

全学年共通 「問題解決的な学習を充実し、考える力、表現する力の育成  
～授業のユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、  
生活科・理科の授業を工夫して～」

- ◆本校の児童の実態と学習指導要領改訂を考慮して、問題解決的な学習過程の中での思考力・判断力・表現力、学習に向かう力等の育成を重視し、アクティブラーニング（主体的・対話的で深い学び）の充実を目指した。
- ◆問題解決の学習過程を本校の児童の実態と ESD で必要な資質・能力と関連させ、生活科：出会う・調べる・考える・まとめる、理科：つかむ・調べる・考える・まとめるとし、特に、考える力、表現する力の育成をめざす。
- ◆特別支援学級配置校の強みを生かし、授業のユニバーサルデザインを取り入れた授業の工夫と学習環境づくり

上記3つの課題をもち、生活科と理科を中心としながらも、他教科及び領域とも関連させながら、問題解決的な授業を展開していくことで、批判的に考える力、コミュニケーションを行う力、他者と協力する態度等につなげていこうと考えた。主な単元としては

#### 【1年】環境教育の推進

「きれいにさいてねわたしのはな」「じぶんたちでそだててみよう」  
アサガオなどの栽培活動

#### 【2年】環境教育の推進

「めざせ野さい作り名人」育てた野菜の収穫や食育  
「まちが大すきたんけんたい」「えがおのひみつたんけんたい」自分の町探検活動

#### 【3年】環境教育の推進

「栽培・大豆はかせになろう」「カイコと私たちの生活」  
蚕、大豆、野鳥、虫、植物の調査・栽培・観察活動

#### 社会福祉教育

「地域のお年寄りとのふれあい活動を通して」地域の高齢者、障がい者とのふれあい

#### 【4年】環境教育の推進

環境について考えよう  
「ゴミについて考えよう」「校庭の自然に触れよう」「堆肥作り」ゴミで環境を考える

#### 国際理解教育の推進

「外国の様子を知ろう」外国の人たちとふれあおう

#### キャリア教育の推進

「1/2成人式をやろう」感謝の気持ちとこれからの生きる力

#### 【5年】環境教育の推進

「私たちのお米」稲の栽培と収穫と食育  
「富士周辺の自然について調べよう」富士の自然から環境問題を考える活動

#### 福祉教育の推進

「今わたしたちにできること」障がいのある人たちとのふれあい

#### 【6年】環境教育の推進

「大切な自然」  
「八ヶ岳の環境調査（自然について）」八ヶ岳の自然から環境問題を考える

#### 国際理解教育の推進

「平和のためにできること」観点別の国際比較とガイドマップ作り

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

<ul style="list-style-type: none"><li>・ 図書室にある関係する本 (植物図鑑・動物図鑑・お米関係の書籍)</li><li>・ 私たちの環境教育</li><li>・ 研修先でもらったパンフレット</li><li>・ インターネット (yahoo)</li></ul>
---

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

- ・校外学習で訪問した場所で、実際に学べることから考えるように位置付けている。
- ・日常生活の食を通して、食育（栄養教諭と連携）から社会科を学ぶことにつなげている。
- ・防災教育を切り口として、自らの命を守り、命を考える時間につなげている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

- ・児童による授業評価を導入し、授業改善推進プランに基づく授業改善を推進すると共に、「貝取スタンダード」を作成し、学習規律や学習の構えを学校全体で共通実践し、学習意欲の向上や基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図る取組を行っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

- ・教職員・児童・保護者・学校運営連絡協議会の方を対象に、評価を行っており、その結果を基に、次年度の改善を図っている。教職員の入れ替わりや若返りが激しく、培ってきたものをきちんと伝えていく仕組みの構築が課題である。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

・ホームページの充実により、その成果を発信している。今年度3万アクセスを更新し、教職員の自信につながっている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度)  
※チェック事項 2-3 に対応

・地域の方と連携し、緑化活動を進めている。  
・野菜作りに関しては、地域の農家の方を招き、指導を受けている。  
・学区域にある、恵泉女子学院大学と連携し、園芸活動を進めることができた。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)  
※チェック事項 2-4 に対応

・多摩市内の小学校・中学校と連携を図り、学び合いながら活動を進めている。

- ⑧ ユネスコスクール活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項2-5に対応

・園芸を通して、地域の方が学校作りに参画することにより、地域とのつながりが密になり、それ以外の、児童の見守り活動等に尽力していただくようになるなど、良い影響が出ている。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

持続発展教育・ESDの視点に立って、体験的な学習を意図的・計画的に取り入れ、「人間性や他者・社会・自然環境等との関係性を」認識する力を育成する。指導の重点としては、「授業のユニバーサルデザイン」をふまえた授業を展開し、本時のねらいや本時を振り返る活動を通して「何ができたようになったか」を明確にする。また、地域・学校・支援者等と一体となり、体験的な活動を充実すると共に、個に応じた指導の充実や授業改善を図る。そして、家庭・地域との連携を密にし、規範意識の高揚と、よりよい生活への実践力を高める。また、防災教育をより充実し、安全安心な生活を確保する。